

Title	年頭のご挨拶
Author(s)	井出, 吉信
Journal	歯科学報, 112(1): 1i-1i
URL	http://hdl.handle.net/10130/2694
Right	



年頭のご挨拶

学会長 井 出 吉 信

東京歯科大学学会員の皆様、あけましておめでとうございます。

この歯科学報も創刊してすでに110年を超えました。この発刊元である東歯学会の発展と大学の研究とは一体のものであります。学会の目的は、大部分が臨床家である学会員の日常臨床に直結する情報と、日々進歩する歯科医学の最先端情報を提供することだと思われまふ。7年前より毎年東歯学会の中に国際学会の部門を取り入れて主に姉妹校の大学との学术交流に力を入れてきました。また同時に各国の姉妹校の学術大会にも東歯学会員が多く講演交流を行うようになってきました。この様に、社会および大学自体にもグローバル化が望まれており、大学の使命として国際的に活躍できる歯科医師を養成する必要があると考えられます。これからは本誌にも国際的な学術内容の情報発信がますます重要になると考えられます。

現在、水道橋キャンパスへの移転は順調に進んでおります。本年4月には新入生を水道橋「さいかち坂校舎」に迎えます。ただ建物が完成出来れば良いわけではありません。言うまでもなく大学の使命は教育、診療、研究です。この充実なくして移転が完了したことにはなりません。東京歯科大学は120年の歴史の中で、何度かの移転を経験してきました。またその度に大学、学会は大いに飛躍してきたと確信しています。

近年歯科医学教育のあり方が見直されてきております。「多様化した医療への対応、患者中心の医療、基本的臨床能力の向上、医療事故防止、生涯教育」などを目指して改革が進められています。この様な現況の中で大学では「自らの判断で考え、自らの責任の基に行動し、広い視野を持つ優秀な歯科医師、研究者を送り出す」を念頭に置いて教育、研究を行っています。

この事からも、大学を基盤とした本学会は、学会員を通じての学生教育への参画、大学の研究者による臨床医に対する最新研究情報の提供など、生涯教育に一層重要な役割を果さなければいけません。

本年の学会のますますの発展を祈念します。